

大仙市アーカイブズ ニュースレター

第29号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

企画展「昭和の風景―木村伊兵衛・井上一郎二人展―」

令和 8 年に昭和は満 100 年を迎えました。当館では日本を代表する写真家、木村伊兵衛と大仙市で農村の姿を撮り続けたアマチュア写真家、井上一郎の昭和の写真の展示を昭和 100 年事業として行っています。

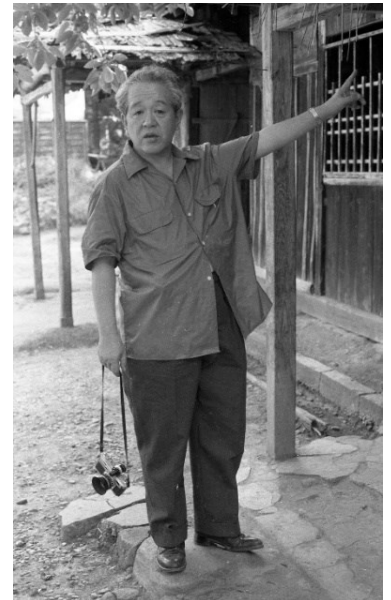
「スナップの神様」「ライカの名手」と呼ばれた昭和を代表する写真家・木村伊兵衛。内小友出身のアマチュア写真家・井上一郎は、木村が内小友で撮影をする際に案内役として同行し、木村の撮影の様子をはじめ、木村と同じ被写体・同じ場所で撮影した写真も数多く残っています。東京出身の木村と内小友出身の井上、二人の写真家が撮影した昭和 20 年～40 年代の大曲の風景やそこに生きた人たちなど、展示内容の一部をご紹介します。



◀「秋田おばこ」

木村伊兵衛の代表作の一つ。この女性は「おばこコンクール」で入選した角間川出身の一般女性で、木村が求める「農民娘」になりきってポーズや表情を作ることは難しく、木村が指示を出して撮影した。

▶ 木村伊兵衛
井上一郎が撮影した木村伊兵衛



◀ 撮影風景

井上一郎が写した木村伊兵衛の撮影の様子。木村が細かく指示を出し、木村のもつイメージとモデルの持つ客観的な美しさを融合させて作品を作り出していたことがうかがえる。

常設展 更新

常設展を更新しました。テーマは「野球」と「馬」です。

大仙市は秋田県における少年野球発祥の地として知られ、野球文化が根づく神岡地域で誕生した 500 歳野球が毎年開催されています。昨年は世界少年野球が大仙市で開催されるなど、現在でも野球文化が活発に行われている地域です。



仙北郡はかつて馬の生産地として栄え、特に大型で力の強い^{ほんぼ}鞍馬の生産に力を入れていました。草競馬も盛んに行われており、県内各地に競馬場が作られていました。地元の名士・池田文一郎も所有馬を出走させており、優勝した記録が残っています。近隣から多くの人が見学に訪れ、当時の貴重な娯楽だったことが分かります。



たくさんの方にご来館いただきました。

・西仙北小学校 3 年生（5 月 13 日）



・秋田大学清水ゼミ（5 月 22 日）



いべんと瓦版

お申込みは電話またはQRより

アーカイブズ講座「井上一郎が見た昭和の大曲」

日 時：令和 8 年 7 月 15 日（水）
場 所：大仙市アーカイブズ 研修室
定 員：20 名
申込期間：7 月 1 日（水）～13 日（月）



夏休みこども講座「みんなでつくろう！公文書」

日 時：令和 8 年 7 月 30 日（木）
場 所：はなび・アム 大研修室
定 員：20 名
申込期間：7 月 1 日（水）～27 日（月）

